

リハビリ通信

研修会の開催報告

「スパイダー研修会」を開催しました！

8月2日（水曜日）、リハビリテーション科主催で院内の職員を対象に「スパイダー（環境支援機器）研修会」



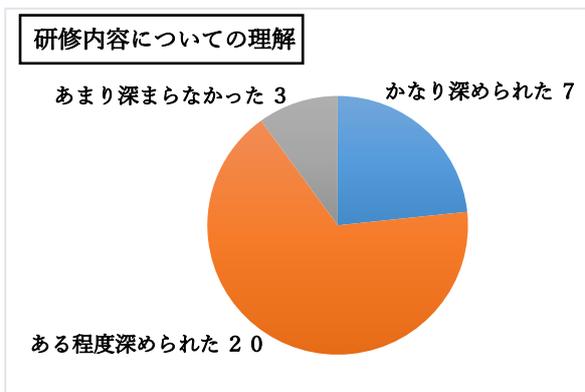
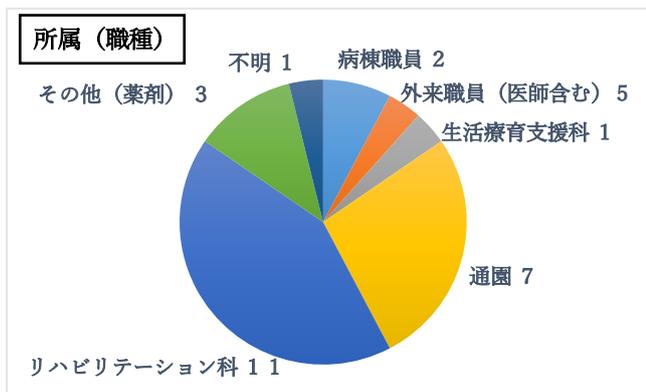
を開催し、35名の参加がありました。講師として、府中けやきの森学園自立活動教諭の田村啓介氏をお招きし、2部構成でご講義いただきました。1部は講義形式で概要やケース紹介を、2部は実技形式でPT室のスパイダーを実際に使用しながら、説明していただきました。

受講者からは「スパイダーの概要や、効果についてわかった」といった声や、実技体験者からは「（スパイダーでの）細やかなハンドリングとアセスメントを知ることができた」などの感想がありました。

リハビリテーション科では、今回の知識を活かし、院内外でのスパイダーに関する認知度を向上させ、更に活用の幅を広げていきます。

そして今後も、利用者が楽しく効果的に運動できる機会を提供できるよう、日々取り組んでいきます。

〔アンケート結果（抜粋）〕 参加者全体 35名 アンケート返却 30名



〔府中療育センターリハビリテーション科のスパイダー〕

スパイダーは、新センター開設にあたり外来PT室に設置しています。主に外来の理学療法士が、楽しく自由に身体を動かすことや、立位練習の補助を目的として使用しています。



* スパイダーシステム（環境支援機器）とは

「スパイダー」の由来は、身体から外に向かって張られたゴム紐が蜘蛛の巣のように見えるためです。構造は、身体に装着する留め具付き腰・股ベルトと、弾力性のあるゴム紐、枠から成り立っています。重力による身体の負荷を調整することで、姿勢の制御や個々の自発的運動を引き出す効果があるとされています。